

「大学院進学に関するアンケート」調査結果

問1 あなたの所属学部、所属コース、学年をお教え下さい。

回答者	応用生命コース		食料科学コース		生物生産コース		2年次計	3年次計	合計
	2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次			
回答者	29	28	33	35	23	24	85	87	172
在学者	33	33	37	36	33	30	103	99	202

問2 新設予定の大学院博士前期課程（修士課程）の特長を表面に記しました。現代社会のニーズに応え、今後必要とされる高度人材の育成を狙いとした本大学院に、あなたは進学したいと思いますか。現時点の希望をお答え下さい。

項番	回答	応用生命コース		食料科学コース		生物生産コース		2年次計	3年次計	合計
		2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次			
1	進学したい	19	17	15	16	12	14	46	47	93
2	進学を検討している	6	8	11	7	5	3	22	18	40
3	どちらかといえば進学を考えていない	1	0	2	2	5	4	8	6	14
4	進学は考えていない	2	3	3	5	4	8	9	16	25
	合計	28	28	31	30	26	29	85	87	172

問3 前問（問1）で「1」～「2」と回答した方にお伺いします。あなたが進学したいコースをお答え下さい。複数ある場合は、コース名の後に希望順位を①、②、③のように記入してください。

「1」～「2」と回答した者の進学したいコース

項目	応用生命コース		食料科学コース		生物生産コース		2年次計	3年次計	合計	
	2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次				
応用生命科学コース	1位	24	24	0	0	1	0	25	24	49
	2位	1	1	13	13	2	2	16	16	32
	3位	0	0	3	4	5	7	8	11	19
食料生物科学コース	1位	0	1	26	22	1	1	27	24	51
	2位	14	11	0	0	4	7	18	18	36
	3位	6	2	0	0	3	2	9	4	13
生物生産科学コース	1位	1	0	0	1	15	16	16	17	33
	2位	6	2	3	4	2	1	11	7	18
	3位	13	12	9	12	0	0	22	24	46
合計	65	53	54	56	33	36	152	145	297	

「1」と回答した者の進学したいコース

項目	応用生命コース		食料科学コース		生物生産コース		2年次計	3年次計	合計	
	2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次				
応用生命科学コース	1位	18	16	0	0	0	0	18	16	34
	2位	1	1	8	9	2	1	11	11	22
	3位	0	0	1	3	4	7	5	10	15
食料生物科学コース	1位	0	1	15	15	1	1	16	17	33
	2位	10	6	0	0	3	7	13	13	26
	3位	6	2	0	0	3	1	9	3	12
生物生産科学コース	1位	1	0	0	1	11	13	12	14	26
	2位	5	2	1	3	2	1	8	6	14
	3位	9	7	4	9	0	0	13	16	29
合計	50	35	29	40	26	31	105	106	211	

問4 前問（問1）で「1」～「2」と回答した方にお伺いします。あなたが興味を持っている研究分野をお答え下さい。（複数回答可。興味がある分野に○をつけて下さい。）

「1」～「2」と回答した者の興味を持っている研究分野

項番	回答	応用生命コース		食料科学コース		生物生産コース		2年次計	3年次計	合計
		2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次			
1	応用生物資源	18	19	9	17	3	7	30	43	73
2	食品科学	9	10	23	21	5	5	37	36	73
3	6次産業	0	4	9	2	6	4	15	10	25
4	メディカルサイエンス	16	15	12	5	1	1	29	21	50
5	農工連携	0	1	2	0	12	8	14	9	23
6	環境・エネルギー	5	7	6	2	6	4	17	13	30
7	フォトニクス	1	0	0	0	0	0	1	0	1
8	防災・危機管理	0	1	1	0	1	2	2	3	5
9	地域開発	1	1	3	1	2	4	6	6	12
10	味・テクス・人間支援	2	0	0	0	0	0	2	0	2
11	データサイエンス	2	0	1	1	1	1	4	2	6
12	機能性材料	1	2	5	1	0	0	6	3	9
13	環境共生	2	2	1	1	8	5	11	8	19
	合計	57	62	72	51	45	41	174	154	328

「1」と回答した者の興味を持っている研究分野

項番	回答	応用生命コース		食料科学コース		生物生産コース		2年次計	3年次計	合計
		2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次			
1	応用生物資源	15	14	6	14	3	5	24	33	57
2	食品科学	7	9	13	15	4	5	24	29	53
3	6次産業	0	3	5	1	3	4	8	8	16
4	メディカルサイエンス	13	11	7	5	1	1	21	17	38
5	農工連携	0	1	1	0	8	6	9	7	16
6	環境・エネルギー	3	6	5	1	5	2	13	9	22
7	フォトニクス	1	0	0	0	0	0	1	0	1
8	防災・危機管理	0	1	1	0	0	2	1	3	4
9	地域開発	1	1	2	1	1	3	4	5	9
10	味・テクス・人間支援	3	0	0	0	0	0	3	0	3
11	データサイエンス	2	0	1	1	1	0	4	1	5
12	機能性材料	0	1	4	2	0	0	4	3	7
13	環境共生	2	1	1	1	6	2	9	4	13
	合計	47	48	46	41	32	30	125	119	244

問5 表面に記載の通り、平成34年4月には、博士後期課程（ドクターコース）も設置の予定です。今後、わが国でも文系・理系を問わず、大手企業を中心として博士号取得者や外国語コミュニケーション能力を有する高度人材が求められる潮流が加速すると予想されますが、この課程に進学したいと思っていますか。現時点での希望をお答え下さい。

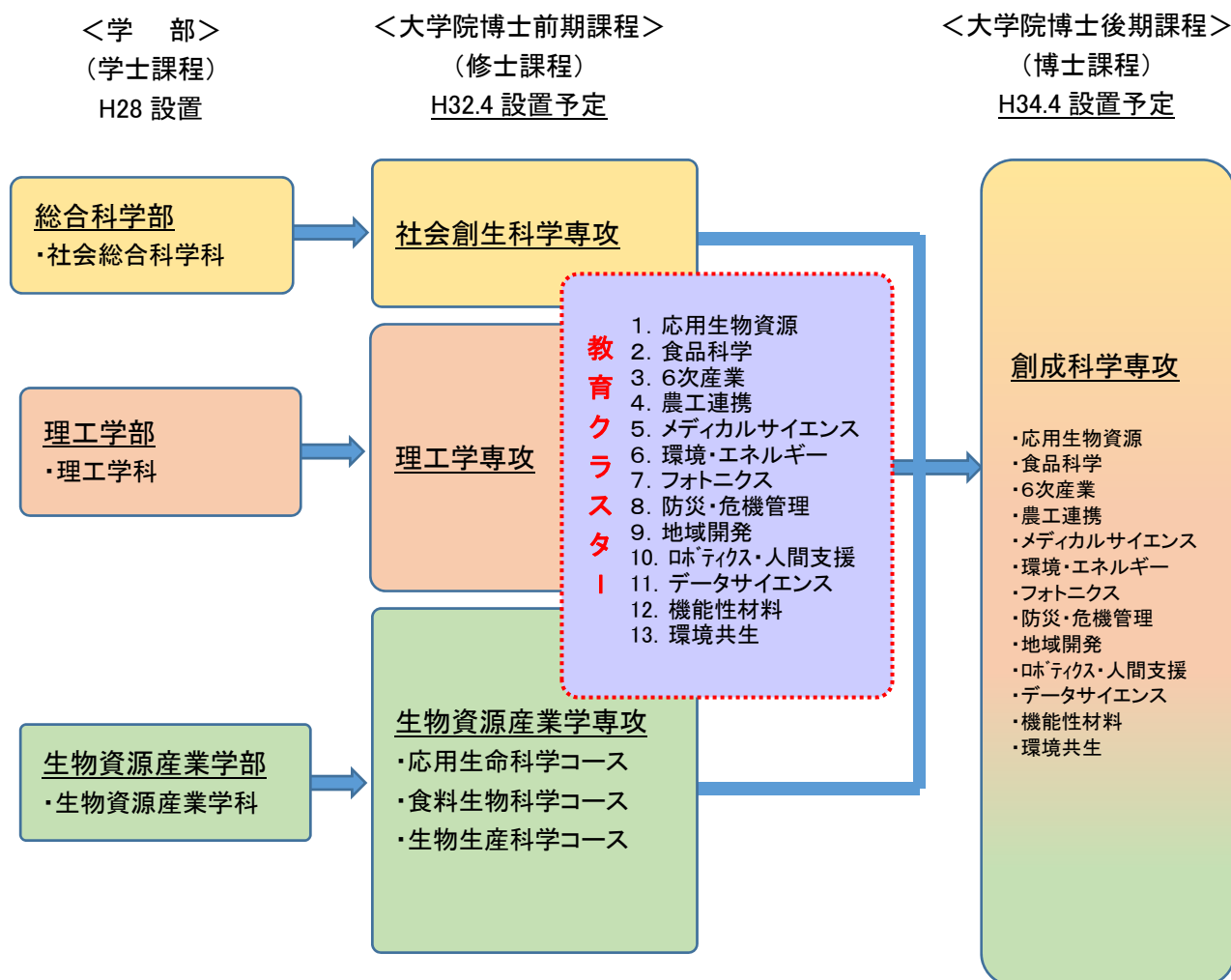
項番	回答	応用生命コース		食料科学コース		生物生産コース		2年次計	3年次計	合計
		2年次	3年次	2年次	3年次	2年次	3年次			
1	進学したい	14	8	8	5	7	2	29	15	44
2	進学を検討している	5	6	4	1	2	3	11	10	21
3	どちらかといえば進学を考えていない	5	1	16	10	8	6	29	17	46
4	進学は考えていない	5	13	5	19	6	13	16	45	61
	合計	29	28	33	35	23	24	85	87	172

在学生の大学院への進学希望調査

徳島大学では、現在、「総合科学部」「理工学部」「生物資源産業学部」に接続する大学院博士前期課程（修士課程）の開設（平成 32 年 4 月）、博士後期課程（博士課程）の開設（平成 34 年 4 月）に向けて準備を進めています。

この大学院では、「所属学部」における専門教育と接続したカリキュラムを主に、新たに興味のある研究分野（例：応用生物資源、食品科学、6次産業、農工連携、メディカルサイエンス、環境・エネルギーなど）にかかる知識を修得できるカリキュラム（分野横断型教育プログラム【教育クラスタ】）を導入し、専門的知識・技術を軸に関連分野の知識・技術を視野に入れ、グローバルかつ複合的な視点から技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成できる高度専門職業人の養成を目指します。

つきましては、在学中の皆さんの意向を本大学院の開設に反映させたいと考えておりますので、裏面の調査にご協力ください。



●大学院生物資源学専攻（修士課程）の構成等

専攻名	コース名	特色と養成する人材像
<p>生物資源学 専攻 (修士課程)</p>	<p>応用生命科学コース</p>	<p>高度な専門知識を活かして、生物工学的アプローチによる生物資源のヘルスサイエンスへの応用、製品化によってバイオ産業の育成と経済の発展に貢献できる高度専門職業人の育成を目標としています。</p> <p>【人材例と活躍の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に製薬・食品関連企業、発酵醸造関連企業への就職者が増加すると期待されます。
	<p>食料生物科学コース</p>	<p>高度な専門知識を活かして、栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見と機能食品開発によって食品産業の育成と経済の発展に貢献できる高度専門職業人の育成を目標としています。</p> <p>【人材例と活躍の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に食品・発酵醸造関連企業への就職者が増加すると期待されます。
	<p>生物生産科学コース</p>	<p>高度な専門知識を活かして、農工連携による生物資源の生産管理システム、ゲノム編集などの新技術による育種・品種改良、資源の高機能化によって1次産業を発展させ、地域社会・経済の活性化に貢献できる高度専門職業人の育成を目標としています。</p> <p>【人材例と活躍の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に農業自営や農業団体関係、自治体の農林水産関連の行政職・技術職への就職者が増加すると期待されます。
<p>【その他参考】</p> <p>1. 学部から大学院修士課程への進学率 : 47.7% (過去5年間平均)</p> <p>2. 大学院修士課程からの就職率 : 96.1% (過去5年間平均)</p> <p>※就職率 = 就職者 / 博士課程進学者を除く修士課程修了者</p> <p>・代表的な就職先 塩野義製薬(株)、大塚製薬(株)、大鵬薬品工業(株)、協和発酵キリン(株) 白鶴酒造(株)、クノール食品(株)、(株)湖池屋、(株)ファンケル など</p> <p>※大学院先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻生命テクノサイエンスコース実績</p>		

大学院進学に関するアンケート

問1. あなたの所属学部, 所属コース, 学年をお教え下さい。

生物資源産業学部 _____ 年次 _____ コース

問2. 新設予定の大学院博士前期課程(修士課程)の特長を表面に記しました。現代社会のニーズに応え、今後必要とされる高度人材の育成を狙いとした本大学院に、あなたは進学したいと思いませんか。現時点の希望をお答え下さい。

1. 進学したい。
2. 進学を検討している。
3. どちらかといえば進学を考えていない。
4. 進学は考えていない。

問3. 前問(問1)で「1」～「2」と回答した方にお伺いします。

あなたが進学したいコースをお答え下さい。複数ある場合は、コース名の後に希望順位を①, ②, ③のように記入してください。

1. 応用生命科学コース (順位)
2. 食料生物科学コース (順位)
3. 生物生産科学コース (順位)

問4. 前問(問1)で「1」～「2」と回答した方にお伺いします。

あなたが興味を持っている研究分野をお答え下さい。(複数回答可。興味がある分野に○をつけて下さい。)

- | | | |
|---------------|-----------------|----------|
| 1. 応用生物資源 | 7. フォトニクス | 13. 環境共生 |
| 2. 食品科学 | 8. 防災・危機管理 | |
| 3. 6次産業 | 9. 地域開発 | |
| 4. メディカルサイエンス | 10. ロボティクス・人間支援 | |
| 5. 農工連携 | 11. データサイエンス | |
| 6. 環境・エネルギー | 12. 機能性材料 | |

問5. 表面に記載の通り、平成34年4月には、博士後期課程(ドクターコース)も設置の予定です。今後、わが国でも文系・理系を問わず、大手企業を中心として博士号取得者や外国語コミュニケーション能力を有する高度人材が求められる潮流が加速すると予想されますが、この課程に進学したいと思っておりますか。現時点での希望をお答え下さい。

1. 進学したい。
2. 進学を検討している。
3. どちらかといえば進学を考えていない。
4. 進学は考えていない。

◆ 質問は以上です。なお、本アンケートは、学部学生の皆さんのご意見を参考に、皆さんのニーズに一層お応えできるよう大学院再編に役立たせていただきます。それ以外の目的では一切使用しません。

◆ ご協力ありがとうございました。

国立大学法人徳島大学新大学院に関するアンケートについて

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野の皆様へ

平素は本学の教育研究活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

徳島大学では、平成28年度に設置した「総合科学部」「理工学部」及び「生物資源産業学部」に接続する大学院創成科学研究科（仮称）の設置（平成32年4月）に向けて準備を進めています。構想中の大学院と学部との関係は以下の通りです。

総合科学部 → 大学院創成科学研究科 地域創成専攻
→ 大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻
理工学部 → 大学院創成科学研究科 理工学専攻
生物資源産業学部 → 大学院創成科学研究科 生物資源学専攻

総合科学部からは地域創成専攻及び臨床心理学専攻への進学が想定されていますが、本アンケートは、心理職が活躍する保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野の皆様から、特に臨床心理学専攻に対するご意見をお伺いし、より良い大学院教育を実践するために参考とさせていただくものです。臨床心理学専攻は、「文理横断的視点を持ち、臨床心理学とその関連領域に関する幅広い知識と論理的思考力を備え、心の健康の回復と保持増進の観点から持続可能な社会の創生に貢献できる人材を養成」することを目指しており、地域で活動されている保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野の皆様からのご意見は大変貴重なものと考えております。よって、添付いたしました資料をご参照のうえ、以下のアンケートにご協力賜りますようお願いいたします。

ご多忙中とは存じますが、平成31年1月25日（金）までに、郵送、またはFAX、またはメールにてご回答くださいますようお願いいたします。

なお、アンケートで得られた情報や回答は、上記の目的のための統計資料としてのみ利用し、目的以外に利用することはありません。また、アンケートは無記名で行い、皆様の個人情報を守ることをお約束します。

国立大学法人 徳島大学 総合科学部

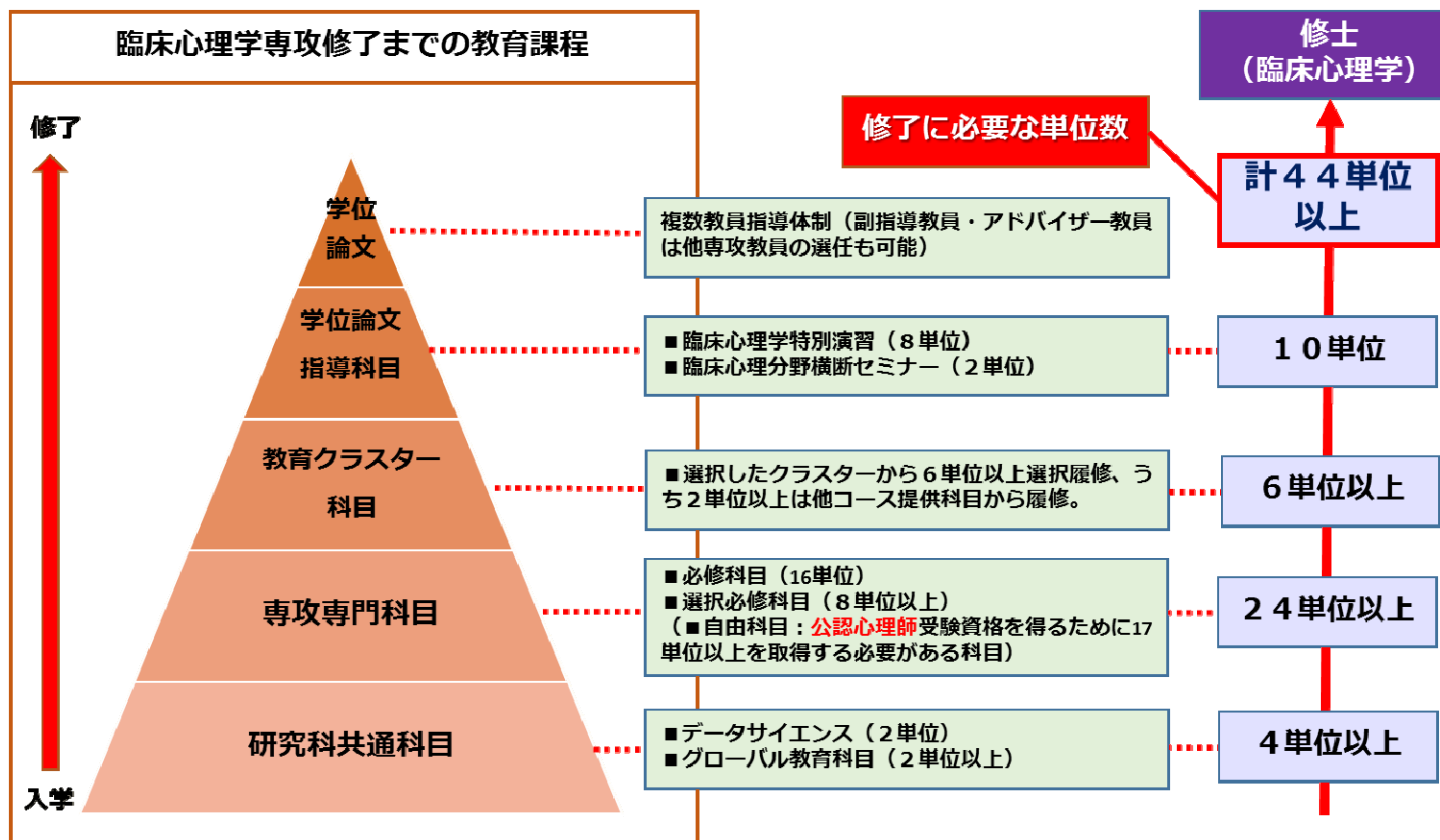
担当： 徳島大学常三島事務部総合科学部事務課内 原
TEL： 088-656-7101
FAX： 088-656-7298
E-mail： skkachou@tokushima-u.ac.jp

※平成31年1月25日（金）までにご回答くださいますようお願いいたします。

国立大学法人 徳島大学に関するアンケート【臨床心理学専攻資料編】

臨床心理学専攻の教育課程

臨床心理学専攻の修了要件は、修士課程に2年間以上在学し、専攻規則で定める単位（44単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。



教育クラスター科目の履修により養成される人材 (臨床心理学専攻の例)

